

会 議 録(1)

会議の名称	令和7年度 第3回飯能市立博物館協議会
開催日時	令和8年3月27日(金曜日) 午後2時00分から4時15分まで
開催場所	飯能市立博物館 学習研修室
議長氏名	馬場 憲一
出席委員	小槻 成克・加藤 衛弘・岸 やよい・坂本 幸・杉田 和美・杉山 正司 塚内 素子・佐野 芳美・平良 宣子・馬場 憲一
欠席委員	なし
説明者の職員	なし
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	博物館長 尾崎 泰弘 主 幹 村上 達哉 主 任 金澤 花陽乃 主 事 補 中村 岳

会 議 録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

議事

(1) 令和7年度主要な事業報告について

- ・資料1「令和7年度 主要事業報告」に基づいて説明し、了承を得た。

(2) 令和7年度博物館評価について

- ・資料2「令和7年度 博物館事業評価表」に基づいて説明し、評価を得た。

(3) 令和8年度主要な事業計画(案)について

- ・資料3「令和8年度主要な事業計画(案)」に基づいて説明し、了承を得た。

(4) その他

- ・博物館の開館時間等の変更(試行)について説明し、了承を得た。

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
	午後2時00分 開会
主幹	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は委員の皆さま全員にご出席いただいております。飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和7年度第3回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p>
主幹	<p>2 あいさつ</p> <p>はじめに、馬場会長にごあいさつをお願いします。</p>
会長	<p>(会長あいさつ)</p>
主幹	<p>続きまして、博物館長よりごあいさつを申し上げます。</p>
館長	<p>(館長あいさつ)</p>
主幹	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、傍聴者ですが、本日は申込みがありませんでしたのでご報告いたします。これより議事に入ります。議事の進行につきましては、飯能市立博物館条例第15条第1項の規定により、会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>3 議事</p> <p>それでは議事に入ります。本日の議事について説明をお願いします。</p>
館長	<p>本日の議事は次第掲載のとおり、4件です。まずは「(1) 令和7年度主要な事業報告」について、ご審議いただきたいと考えております。ご説明を申し上げます。</p> <p>(資料1に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、「(1) 令和7年度主要な事業報告」について、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>活動実績表の市民学芸員（放課後子ども教室部会）については、どのような活動をどのくらいの頻度で行っているのでしょうか。</p>
主任	<p>本活動は博学連携分野の市民学芸員活動とは別に、飯能第二小学校の放課後子ども教室の運営を行うことを目的として活動しています。生涯学習課からの依頼により、同校</p>

	<p>の放課後子ども教室を博物館が年1回担当しており、その実施に向けて有志で部会を作り、半年ほどかけて準備を行っています。</p>
委員	<p>対象校は飯能第二小学校に決まっているのでしょうか。また、年間を通じて準備を行っているという理解でよろしいでしょうか。</p>
主任	<p>学校や日時は、生涯学習課からの依頼に基づいて決まります。今年度は飯能第二小学校の11月17日実施分が当館の担当となりました。ご指摘のとおり、当日に向けて日常的に準備を進めています。</p>
会長	<p>大学生のインターンシップ受入れは、博物館の活動を知ってもらう取組として大変良いと思います。具体的にどのような業務を行っているのでしょうか。</p>
館長	<p>大学生のインターンシップについては、市役所の行政実務に関心を持つ学生の受入れ先として、博物館らしい業務だけでなく、行政の仕事とのつながりも理解してもらえよう工夫しています。歴史系の学部学科でない学生を受け入れることもあり、今年度は市役所の業務の流れが見えやすい歴史的公文書の整理や目録作成、撮影等を中心に体験してもらいました。学生にとって地味な作業ではありますが、毎年意欲的に取り組んでもらっています。</p>
会長	<p>他にご意見等ありませんか。</p>
委員	<p>(なしの声あり)</p>
会長	<p>では次に、「(2) 令和7年度博物館評価」について、説明をお願いします。</p>
館長	<p>「(2) 令和7年度博物館評価」について説明いたします。今年度の評価対象事業は5件です。このうち、特別展と自然分野のビジターセンター的機能の充実については、教育行政の重点施策にも位置づけられております。各事業ごとに担当から説明し、その後ご意見をいただいて評価を確定していただきたいと考えております。</p>
主幹	<p>まず、事業名「特別展『おふだ大集合!』(仮称)の充実」について説明いたします。(資料2に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>達成率については90%ではなく、95%としてもよいのではないのでしょうか。来館者数は目標に僅かに届かなかったものの、全体としてよく健闘していると思います。</p>
主幹	<p>ご意見ありがとうございます。来館者数は目標値の135人に対し132.2人でし</p>

	<p>たが、アンケート結果は高い評価を得ており、展示の成果自体は大きかったと考えています。</p>
委員	<p>図録の購買率が10.1%というのは非常に高い数字です。県立の博物館でも基本的に3パーセント程度でそれを目安に作成をします。強気に発注する際も5%程で、10%というのはそうないと思います。図録の内容と展示の評価が結び付いた結果であり、この点も評価に反映してよいのではないのでしょうか。</p>
主幹	<p>収蔵品展の段階から図録化を望む声があり、そうしたニーズを踏まえて作成したものです。想定以上の売れ行きで、配布用の部数もほとんど残らない状況でした。</p>
会長	<p>来館者の年齢層や、どのような関心から来館したのか、何か傾向はありましたか。</p>
主幹	<p>アンケートを分析すると、従来多かった60代以上の来館者がやや減る一方で、20代から50代の来館者が増えました。若い世代は歴史資料としてよりも、神仏の図像やデザインへの関心から来館している印象がありました。広報の方法や訴求の仕方については、今後さらに工夫が必要だと考えています。</p>
会長	<p>入館者数を目標値にするだけでなく、どのような広報を行ったかといった、館が主体的に取り組んだ内容も評価の中に位置づけられるとよいのではないのでしょうか。</p>
館長	<p>出張授業や講師派遣等も含め、館の取組がどう成果に結びつくかをより明確にできるよう、今後、指標や目標設定のあり方を検討してまいります。</p>
委員	<p>図録については、増刷も検討してはいかがでしょうか。会期終了後も一定の需要が見込まれると思います。</p>
館長	<p>様々な制約もありますが、ご意見として承ります。</p>
会長	<p>それでは、本事業については達成率を95%、評価をBとすることでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なしの声あり)</p>
主任	<p>続いて、事業名「第X期市民学芸員養成講座の充実」について説明いたします。 (資料2に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>認定に至らなかった方や、小学3年生見学対応に参加しなかった方について、理由を</p>

	把握し、次回に生かす必要があると思います。どのように考えていますか。
主任	小学3年生見学対応に参加出来なかった認定者については、仕事の都合等で平日午前の活動に参加出来ないといった制約がありました。また、養成講座の途中で参加が途絶えた受講者については、募集段階でのイメージと実際の活動内容との間にミスマッチがあった可能性もあると考えています。今後は募集時の説明をより丁寧にしたいと思います。
委員	受講者の年齢層について教えてください。若い世代の参加状況も気になります。
主任	認定者19名のうち、最年少は21歳、最年長は80代でした。ボリュームゾーンは60代から70代で、定年退職後に地域活動や学びに関心を持つ方が中心です。大学生の参加は1名でした。
委員	大学生のような若い層にも参加してもらえるよう、大学とのつながりを意識した周知を進めてほしいと思います。お子さんにとっても、若い市民学芸員がいることは良い刺激になると思います。
主任	ありがとうございます。今後の参考にいたします。
委員	小学3年生見学対応への実践参加は、具体的にどのような形で行ったのでしょうか。
主任	見学期間中に各プログラムを見てもらった上で、実践期間には現役の市民学芸員と同様に、子どもたちへの説明や指導に入っていました。記録係ではなく、マニュアルを踏まえたうえで、指導者の一員として活動していただく形をとっています。必要に応じて先輩市民学芸員が進行の補助やフォローに入っています。
委員	小学3年生見学対応は学校側としても、非常に手厚い体制で対応していただいていると感じています。児童だけでなく、教員にとっても学びの多い取組です。
委員	募集人数を超える申込みがあった場合の選考方法について教えてください。
主任	募集要項では、飯能市在住であること、全講座に参加できる見込みがあることを原則としています。今回は市外在住の希望者についてはお断りし、市内在住の応募者に参加していただきました。
会長	現在、市民学芸員として登録している人数と、実際に活動している人数はどの程度でしょうか。
委員	登録者数は25名以上おりますが、実際に継続的に活動されているのは15名程度で

	す。
会長	それでは、本事業については達成率95%、評価Bとすることでよろしいでしょうか。
委員	(異議なしの声あり)
主幹	続いて、事業名「文化財保存活用地域計画の関連文化財群に関わる現地見学会の充実」について説明いたします。なお、本事業は明後日実施予定のため、本日は事業内容の説明のみといたします。 (資料2に基づいて説明)
会長	ご説明ありがとうございました。それでは、質疑のある方はお願いします。
委員	目標値については、募集人数を超える申込み者数よりも、実際の参加者数を指標とする方が適切ではないでしょうか。
館長	ご指摘ありがとうございます。今回は設定済みのためこのままとしますが、次年度以降の目標設定の参考にいたします。
委員	募集人数は何人で、年齢制限等の条件はありますか。
主幹	募集人数は15名です。山を歩く事業であり、職員2名で安全管理を行う都合から、この人数を上限としました。年齢による制限は設けておりませんが、山歩きが可能であることを条件として周知しています。
委員	文化財保存活用地域計画との関係が参加者に伝わるよう、現地解説の中で位置づけを意識していただけるとよいと思います。事前学習的な要素を加えることも有効ではないでしょうか。
主幹	ありがとうございます。文化財保存活用地域計画に基づく事業であることが分かるよう説明を工夫するとともに、次年度以降の実施方法の参考にいたします。
館長	この件については、事業実施後、改めて評価をお願いします。
館長	続いて、事業名「収蔵資料の整理」について説明いたします。 (資料2に基づいて説明)
会長	ご説明ありがとうございました。それでは、質疑のある方はお願いします。
委員	資料整理や公開は重要ですが、その先の利活用も大切です。今後はデジタルアーカイブ

	<p>ブのアクセス数なども把握し、利用状況を評価指標として盛り込むことを検討してはどうでしょうか。</p>
館長	<p>ありがとうございます。今後の指標設定の参考にいたします。</p>
委員	<p>子どもが調べ学習をする際、漢字や専門用語の壁があり、既存のページだけでは理解が難しい場合があります。子ども向けに飯能の歴史や民俗を学べるようなページを整備し、その中にデジタルアーカイブを活用していくとよいのではないのでしょうか。</p>
館長	<p>ご意見ありがとうございます。利活用のあり方として検討してまいります。</p>
会長	<p>本事業については達成率100%、評価Aとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なしの声あり)</p>
主任	<p>続いて、事業名「飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実」について説明いたします。 (資料2に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>展示コーナーの更新回数は目標4回のところを6回とを大きく上回っており、十分評価してよいのではないのでしょうか。前年の内容を活用すること自体は悪いことではなく、達成率100%としてもよいと思います。</p>
主任	<p>本事業を担当した自然担当の会計年度任用職員は、新規作成が少なかったことから厳しめに自己評価していましたが、日々の自然情報を伝えるという点ではよく取り組んでいただいたと考えています。</p>
会長	<p>課題として新規性の向上を意識しつつも、今年度の協議会としては達成率100%、評価Aとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なしの声あり)</p>
会長	<p>以上で博物館評価の審議を終わります。コメントについては、本日のご意見を踏まえて事務局で整理をお願いします。未実施の現地見学会については、5月の協議会で改めて報告をお願いします。</p>
会長	<p>では次に、「(3) 令和8年度主要な事業計画(案)」について、説明をお願いします。</p>

館長	「(3) 令和8年度主要な事業計画(案)」について説明いたします。 (資料3に基づいて説明)
会長	ご説明ありがとうございました。それでは、質疑のある方はお願いします。
委員	特別展等の図録は来館者からの需要も高く、今後もできる限り印刷費を確保していただきたいと思います。
館長	ありがとうございます。ご意見として承ります。
委員	昭和100年展については県内含めて多くの館で実施が予定されていますが、飯能市でやる独自性や、工夫を盛り込んで多くの人に来館してもらえるように、開催してほしいと思います。
館長	担当学芸員が現在内容を詰めているところです。ご指摘を踏まえ、構成や広報を検討してまいります。
委員	昭和100年展は収蔵資料中心の展示とのことですが、若い世代にも届く見せ方が必要だと思います。昭和への関心を持つ層をどう呼び込むかという戦略が大切ではないでしょうか。
館長	限られた予算の中ではありますが、収蔵資料の見せ方を工夫しながら検討を進めます。
委員	ミニ展示「ひなまつり」については、令和8年度の飯能ひな飾り展の実施状況が不透明になっていると伺っています。その点を踏まえた記載にした方がよいと思います。
館長	ご指摘のとおり、商店街中心の飯能ひな飾り展に合わせるという表現は現時点では適当でないため、文言を修正したいと思います。
委員	夏休み期間中の展示は子どもたちにとって重要な学びの場です。昭和100年を扱うのであれば、飯能の昔の暮らしや子どもが触れられる資料など、子ども向けの工夫があるとよいと思います。
会長	昭和という時代を扱う際には、単に懐かしさだけでなく、戦後社会の歩みといった側面も含めて、多面的に見られる展示になるとよいと思います。
委員	予算が半減する中で、看板や印刷物などの対応はどのように考えていますか。
館長	予算がないから何もできないということではなく、大型プリンター等の館の設備や職員の知恵を生かし、可能な範囲で自前の対応を進めたいと考えています。博物館は予算

	<p>が厳しい中でもコンテンツを発信できることが強みであり、そうした姿勢を示していきたいと思います。</p>
会長	<p>講師謝金が減ることによって、講座回数の縮減などもあり得るということですね。</p>
館長	<p>はい。講師謝金の縮減に伴い、講座回数や実施方法を見直す必要は出てきますが、工夫しながら対応してまいります。</p>
委員	<p>学校教育との連携をもう少し深めてもよいのではないのでしょうか。展示や事業の情報を学校へ届けるルートをより意識してほしいと思います。</p>
館長	<p>学校向けには、タブレット端末上のロイロノートへの資料掲載や、保護者向けアプリ「テトル」等を通じた周知を行っています。ただ、現在は主に事業の告知にとどまっているため、今後、より教育活動と結びつく形を検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>放課後子ども教室も含め、小学3年生見学対応以外にもつながりを広げられるとよいと思います。</p>
館長	<p>負担とのバランスもありますが、可能な範囲で検討してまいります。</p>
会長	<p>他にご意見等ありませんか。</p>
委員	<p>(なしの声あり)</p>
会長	<p>では次に、「(4) 博物館の開館時間等の変更(試行)」について、説明をお願いします。</p>
館長	<p>「(4) 博物館の開館時間等の変更(試行)」について説明いたします。 (資料4に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>検証内容について、利用者の声は大変重要だと思います。従来の任意アンケートだけでなく、期間を定めた意見集約や対面での聞き取りなど、より積極的な方法も検討してはいかがでしょうか。</p>
館長	<p>ありがとうございます。検証方法の参考にいたします。</p>
会長	<p>他にご意見等ありませんか。</p>
委員	<p>(なしの声あり)</p>

会長	ありがとうございました。それでは事務局に司会を戻します。
主幹	4 その他 ご審議ありがとうございました。それでは事務局から2点ご報告いたします。
館長	1点目は、来年度開催する予定の地方史研究協議会第76回飯能大会についてです。前回は口頭で説明しましたが、概要が固まりましたので、本日資料を配布いたしました。地方史研究協議会は全国規模の歴史研究団体であり、令和8年度の第76回大会は飯能市で開催されることになりました。会場は飯能市市民会館で、10月17日から19日までの日程で、研究発表、公開講演、巡見等を行う予定です。当館からも村上主幹、金澤主任が共通論題報告に登壇予定です。全国から250～300名程度の参加が見込まれ、飯能とその周辺地域の歴史と文化を広く発信する機会にもなると考えています。 2点目は、来年度の職員体制等についてです。来年度から、生涯学習課文化財担当が博物館の所管に移ります。博物館長が博物館担当含めて両方を所管し、文化財担当は中央地区行政センター内で執務する予定です。職員配置については、博物館担当4名、文化財担当4名で、正職員は計8名体制となります。次回の協議会で、新体制の職員をご紹介したいと思います。
主幹	ただいまの報告について、ご質問等ございますか。
委員	(なしの声あり)
主幹	それでは「4 その他」は以上といたします。
主幹	5 閉会 それでは以上をもちまして令和7年度第3回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。
	午後4時15分 閉会
<p>議事のでん末、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>会長の署名 _____</p>	